

沿革史

仮開校式 6月25日

校長 高田不二夫

生徒 25名

本開校式 7月10日

高田不二夫市来知小学校長

担任 森 次郎

生徒 30名

○明治34年4月1日

萱野尋常小学校設置認可

5月2日付け

第一代校長 北岡猪三郎

※ 12月12日 空知集治監孫別分監の廃止により2棟の特別払い下げを受け、寺の仮教室から移転し授業が行われた。

位置は、道道三笠栗山線と原田謙四郎氏宅に至る道道交差点角

○明治35年3月24日

第一回卒業証書授与式が行われ、尋常科4年生5名が卒業証書与えられた。

○明治35年10月6日付け

第二代校長 高橋 宏

砂川小学校訓導から、本校長に補せられた。半年の在職で江部乙村北辰小学校訓導に転じ、現校地への移転を見ずに行かれたらしい。

○明治36年3月22日

分監あと仮校舎は移され間仕切り2教室として使用され続いて11月12日、2教室物置1、廊下及び分監移転建物を運動場としてこれへの渡り廊下と併せて94.75坪の萱野小学校が建築された。

○明治36年4月8日

第三代校長 小倉 千壽 (夕張郡由仁校より)

3月22日に現校地に移転したため、移転後の最初の校長であったと推測される。

9月23日付けで札幌創成校へわずか半年で転任

○明治 36 年 11 月 2 日

第四代校長 藤田 有一郎（秩父尋常高等小学校より）
児童生徒 61 名

○明治 38 年 11 月 14 日

第五代校長 西川 初太郎（雨龍郡北龍尋常小学校より）
児童数 90 名

○明治 39 年 4 月

児童数 114 名

○明治 41 年

学校制度の改正が行われ、義務教育 6 年生となり尋常科 4 年生第 7 回の卒業式は明治 41 年 3 月 21 日に行われ、この制度の卒業生は 106 名となった。明治 42 年の卒業は従ってなく、この年 6 月 8 日、校地 30 坪を整地し、生活棟による 15 坪の運動場拡張を 12 月 8 日に完成し、仕切って 5.6 年生の使用にあてた。

○明治 43 年 3 月 20 日

児童数 154 名

尋常科 6 年生の卒業式で 8 名の卒業生

7 月 16 日

北海道庁より「許可 未開地処分法第四条」による校地の付与が三笠山村に認可され、萱野 192 番地の学校用地が明治 42 年 8 月 3 日に登記され現在に至る。

○明治 43 年 5 月 3 日

三笠山村役場は、砂利山東部より萱野小学校通学の児童 34 名を校舎が狭い理由から市来知小学校へ転校させる通知を出した。以来本校通学区は、大里西を境とし、現在に至る。明治年間に於ける萱野小学校卒業生は、明治 45 年 3 月 20 日第 10 回生まで、139 名である。

○大正元年

萱野は発展期に入った。萱野橋の架設、萱野駅の落成と日本製麻株式会社岩見沢亜麻工場の操業開始。大正 3 年頃より、児童数が増加し、大正 4 年 6 月は萱野開校以来の最大 183 名となった。岩見沢町より、委託児童 57 名は、5 月 1 日より、野々沢分教場に収容された。

○大正 8 年 5 月 1 日

第六代校長 永島 末次郎（岡山小学校長より）

○大正 15 年 3 月 31 日

永島校長 栄転（札幌 内大部中央尋常高等小学校長へ）

○大正 15 年 3 月 31 日

第 7 代校長 笠原 省三（奔幌内尋常小学校長）

大正年間に於ける、卒業生は、大正 2 年 3 月 19 日の第 11 回から大正 15 年 3 月 20 日第 24 回卒業生まで 219 名、第 1 回から併せて 358 名に達した。

○昭和 4 年 10 月 29 日

萱野小学校教室新築

○昭和 7 年 11 月 15 日

第 8 代校長 深田 寛司（幾春別小学校訓導から）

○昭和 16 年

高等科の併置まで校舎の変化はなく、国民学校令実施となり、従来、萱野、岡山、野乃沢小学校卒業生は概ね岩見沢、市来知、両校に通学していたころから、両校の始業時刻の改正が登校時間に間に合わないという問題が生じたことにより、住民の併置嘆願となった。

この間、1 年、4 年、6 年生を 1 教室、2 年 3 年 5 年を 1 教室、高等科を 1 教室とした複々式授業が行われこの解決策として、7 月 7 日、萱野青年会館を借用して授業を行った経緯もあった。

○昭和 18 年 11 月

1 教室、玄関を含む 25 坪の増築

高等科卒業生は、昭和 17 年 3 月 19 日を第 1 回とし、昭和 22 年 3 月 20 日、第 6 回まで、236 名である。

○昭和 22 年

6・3・3 制の新学校制度により本校は三笠中学校萱野分校として設置、小中併置校として開校。

翌 23 年には、第 2 戦校舎 3 教室、技術室を職員室とし、石炭庫、玄関に旧校舎からの渡り廊下を併せ 127.5 坪の増築が行われ、10 月に完成した。

○昭和 25 年

教具室、水飲み場、宿直室、9.2 坪の増築

○昭和 27 年

3 月 20 日 第 50 回小学校 6 年生の卒業式を最後とし、岡山小学校に統合され、中学校の単置校となった。

小学校の卒業生は、通算して 763 名である。

○昭和 28 年

中学校独立校舎として、増改築が行われ、明治の代から使用されてきた第 18 線校舎は取り壊され、体育館、仮設第 2 線渡り廊下、玄関及び現在の 3 教室併せて 167.7 坪の工事が 12 月 15 日に完成

歴代校長



初代
北岡猪三郎



二代
高橋 宏



三代
小倉千歳



四代
藤田有一郎



五代
西川初太郎



六代
永島末次郎



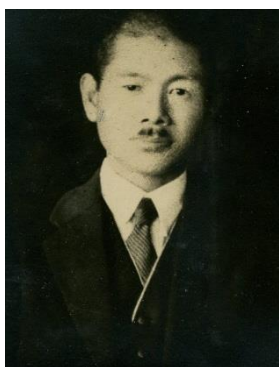
七代
笠原有三



八代
深田寛司



九代
本多徳次



十代
大林 武



十一代
永島東洋



十二代
北島信弘



十三代（萱野中学校初代）
小黒惣吉

児童数の推移と歴代校長

年	学級数	児童数	教職員数	校長名
明治 31 年	1	25	2	高田 不二夫
32 年		30		高田 不二夫
33 年		40		高田 不二夫
34 年	1	41	2	北岡 猪三郎 5 月 2 日～ 35 年 10 月 15 日
35 年		51	2	高橋 宏 35 年 10 月 16 日 ～36 年 4 月 8 日
36 年		61		小倉 千尋 36 年 4 月 8 日 ～36 年 9 月 23 日 藤田有一郎 ～36 年 11 月 2 日
37 年		75		藤田 有一郎
38 年	2	90	2	藤田 有一郎 ～38 年 11 月 12 日 西川 初太郎 38 年 11 月 13 日～
39 年	2	114	2	西川 初太郎
40 年		100		西川 初太郎
41		100		西川 初太郎
42		117		西川 初太郎
43	2	154	2	西川 初太郎
44	2	135	2	西川 初太郎
大正元年		130		西川 初太郎
大正 2 年	2	133	2	西川 初太郎
3		150		西川 初太郎
4	3	174	4	西川 初太郎
5		110		西川 初太郎
6		87		西川 初太郎
7		86		西川 初太郎
8		100		西川 初太郎 ～5 月 1 日

				永島末次郎 5月2日～
9		87		永島末次郎
10		94		永島末次郎
11	2	99	2	永島末次郎
12		100		永島末次郎
13	2	99	2	永島末次郎
14		99		永島末次郎
15	2	107	2	永島末次郎
昭和元年		89		笠原 省三
昭和2年	2	88	2	笠原 省三
3	2	85	2	笠原 省三
4	2	94	2	笠原 省三
5	2	89	2	笠原 省三
6	2	78	2	笠原 省三
7	2	85	2	笠原 省三 ～7年11月15日 深田 寛司 7年11月15日
8	2	87	2	深田 寛司
9	2	86	2	深田 寛司
10	2	78	2	深田 寛司 ～10年8月12日 本多 徳次 10年8月12日～
11	2	85	2	本多 徳次
12	2	97	2	本多 徳次
13	2	94	2	本多 徳次
14	2	97	2	本多 徳次
15	2	92	2	本多 徳次
16		初 97 高 11		本多 徳次
17		初104 高 38		本多 徳次
18		初 104 高 43		本多 徳次 ～3月31日 大林 武 18年3月31日
19		初 99		大林 武

		高 40		～6月30日 永島 東洋 6月30日～
20		初 114 高 55		永島 東洋
21		初 99 高 56		永島 東洋
22	小 3 中 2	小 110 中 73	8	永島 東洋 ～4月30日 北島 信弘 4月30日～
23		小 129 中 115		北島 信弘 ～8月31日 小黒 惣吉 10月31日～
24		小 136 中 105		小黒 惣吉
25		小 126 中 108		小黒 惣吉
26		小 124 中 116		小黒 惣吉
27	3	113	6	小黒 惣吉 ～4月16日 西垣宗太郎 4月16日～